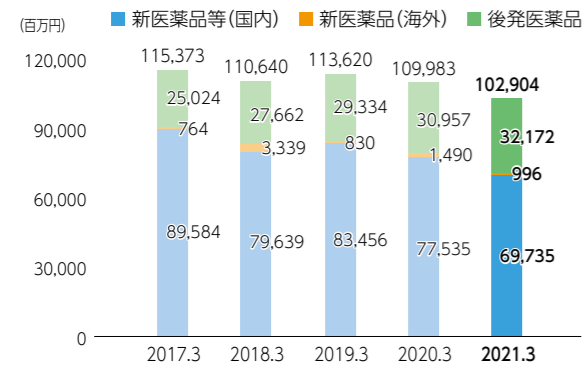


パフォーマンス・ハイライト

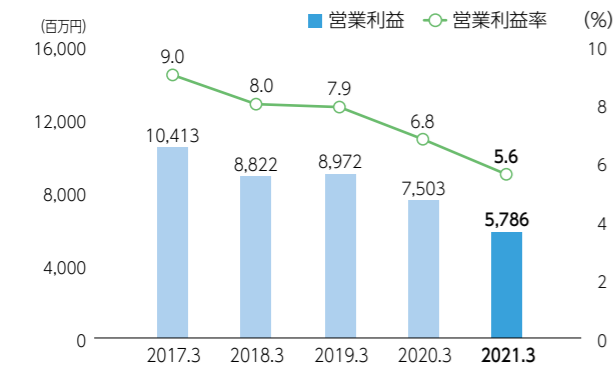
財務

売上高



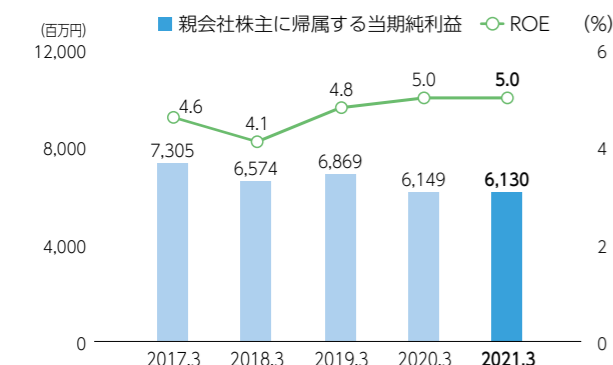
薬価改定および新型コロナウイルス感染症拡大等の影響を受け、新医薬品等(国内)等が前年を下回り、全体の売上高は前期比6.4%減となりました。

営業利益および営業利益率



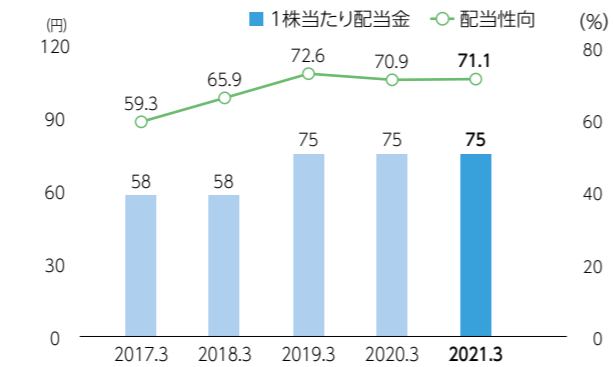
売上減少、売上原価率の上昇による、売上総利益の減少を主因として、営業利益は前期比17億17百万円減少し、営業利益率は5.6%となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益およびROE



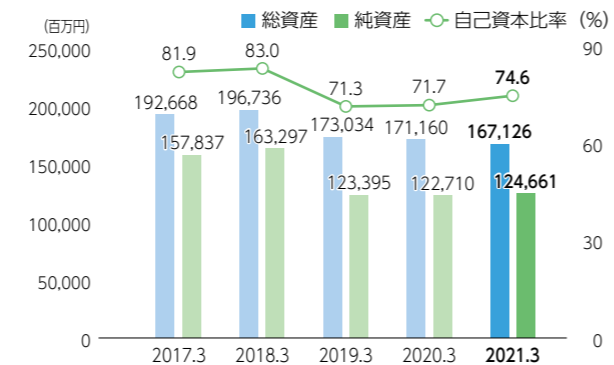
新薬群の成長加速により、ROEの改善を図ってまいります。なお2019年3月期に408億円の自社株購入を行っています。

1株当たり配当金および配当性向



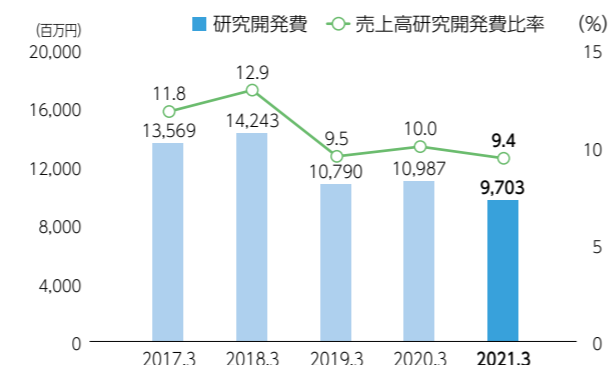
2019年3月期以降、株主還元については、DOE(株主資本配当率)を勘案して、安定した配当を目指しています。

総資産、純資産および自己資本比率



前期末と比較し、総資産は40億34百万円減少し、純資産は利益剰余金の増加17億69百万円等により、前期末比19億51百万円増加しました。この結果、自己資本比率は74.6%となり、前期比2.9ポイント上昇しました。

研究開発費および売上高研究開発費比率

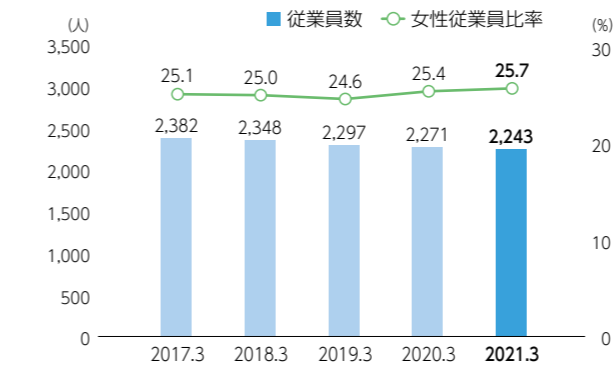


研究開発費の水準は開発ステージの進展によって変動します。長期的な企業価値の向上のため、研究開発投資を継続し、開発パイプラインの拡充に努めています。

非財務

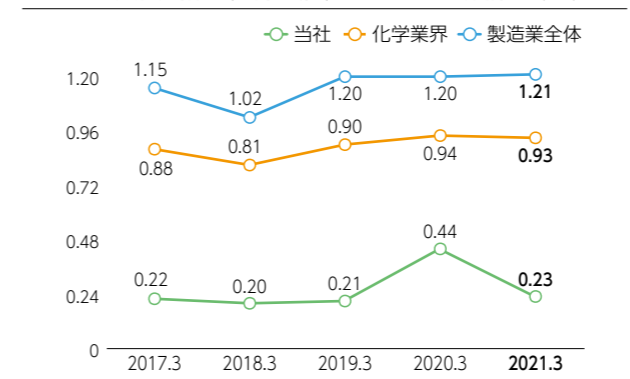
人事

従業員数・女性従業員比率



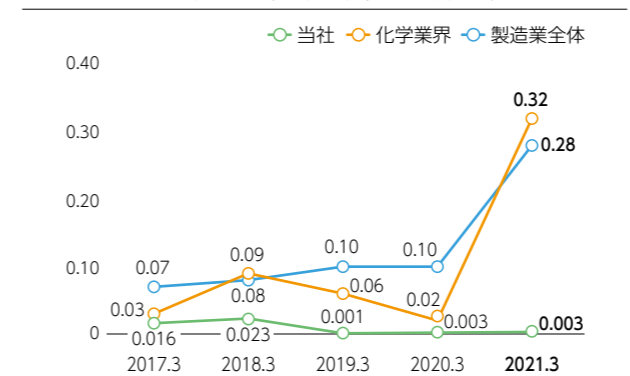
2021年3月期の従業員数は2,243人で、そのうち女性従業員の比率は25.7%です。

度数率



労働災害ゼロに向けた取り組みと従業員の健康増進・快適な職場環境の形成を通じて安全衛生水準の向上に努めています。

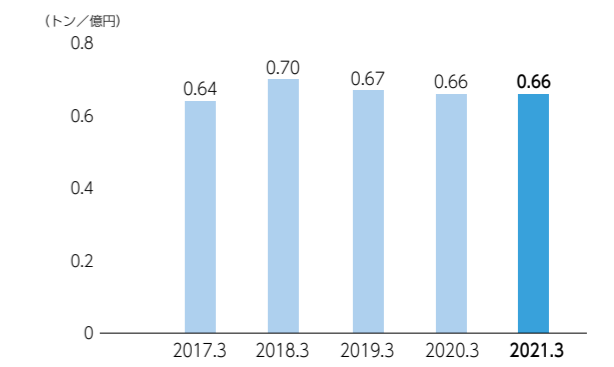
強度率



労働災害防止の取り組みにより、災害発生の頻度と大きさを表す度数率・強度率とも、製造業全体・化学業界の水準を下回っています。

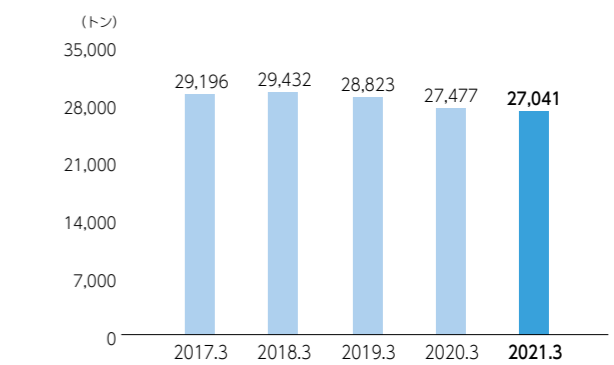
環境

売上当たりの廃棄物発生量の推移



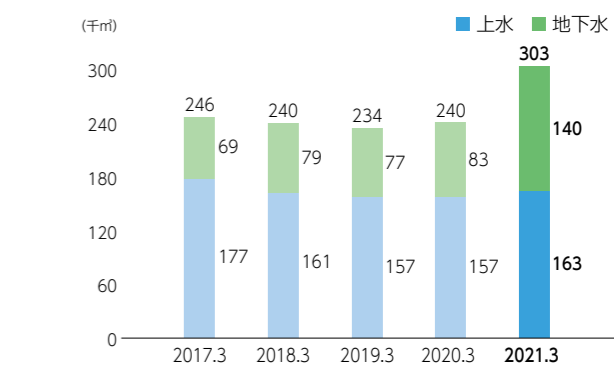
循環型社会の実現に向け、廃棄物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組んでいます。

本社・事業所・工場・研究所のCO₂排出量の推移



2019年度のCO₂排出量27,477トンを基準に2023年度までに6%(年平均1.5%以上)削減を目標として、CO₂排出量削減に取り組んでいます。2020年度のCO₂排出量は27,041トンとなり、目標に対し順調に進捗しています。

水使用量の推移



貴重な水資源の有効活用のため、使用量の削減等、環境負荷低減に取り組んでいます。水質の変化により、2020年度の地下水使用量は増加しました。